

斑点米カメムシ類（特にクモヘリカメムシ）の 発生に注意しましょう！

7月中旬のイネ科雑草地すくい取り調査では、斑点米カメムシ類全体の発生は平年並でしたが、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ及び、アカスジカスミカメはやや多い状況でした（表1）。また、県内に設置したクモヘリカメムシのフェロモントラップは4地点のうち3地点で、成虫の飛来が平年よりも多いことを示しています（表2）。

クモヘリカメムシは、日没後に飛翔移動することが知られており、今後、梅雨明けとともに水田へ飛来する可能性がありますので、越冬場所に近い中山間地以外の平地においても発生動向に注意が必要です。

水田内、畦畔及び水田周辺雑草の適正管理を徹底するとともに、1回目の薬剤散布後も斑点米カメムシ類が見られる場合は、7～10日間隔で1～2回の追加散布を行いましょう。

表1 イネ科雑草地における斑点米カメムシ類すくい取り調査結果

	斑点米カメムシ 類成幼虫合計		主要種の内訳		
	(主要種以外 も含む)	クモヘリカメ ムシ成幼虫	ホソハリカメ ムシ成幼虫	アカヒゲホソ ミドリカスミ カメ成幼虫	アカスジカス ミカメ成幼虫
R2(2020)年(頭)	260.5	30.0	5.2	56.8	163.2
平年値(頭)	237.9	19.2	3.4	107.8	101.5
対平年比(%)	110	156	153	53	161
発生程度	並	やや多	やや多	やや少	やや多

※平年値はH22(2010)～R元(2019)年の平均

表2 フェロモントラップ調査によるクモヘリカメムシ総誘数

	発生程度	R2 (2020)年 (頭)	平年値 (頭)	平年比 (%)
宇都宮市	多	1.0	0.3	333
芳賀町	多	6.0	0.3	1800
茂木町	多	321.0	33.3	963
矢板市	やや少	2.0	9.3	22

※6月から7月第3半旬までの調査結果

※宇都宮市と矢板市の平年値はH22(2010)～R元(2019)年の平均

芳賀町と茂木町の平年値はH26(2014)～R元(2019)年の平均



写真 クモヘリカメムシ成虫

○防除対策については以下の情報を参考にしてください。

令和2（2020）年7月7日発表 植物防疫ニュースNo. 5

[今後の斑点米カメムシ類の動向に注意しましょう！](#)

平成25(2013)年4月発表 病虫害防除対策のポイントNo.16 [斑点米カメムシ類の防除対策](#)

詳細は、農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病虫害情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi_nousei)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jpnpn.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。



6月～8月は「栃木県農業危害防止運動」の実施期間です。
いつものチェック！ 農薬を使用する際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！